

## 形成外科領域専門研修における必要経験症例数一覧

### A : 指定症例の内訳と総計

NCD形成外科疾患大分類	下位分類	経験症例数(執刀数) (経験症例数内に執刀数を含む)
I 外傷	熱傷・凍傷・化学損傷・電撃傷 顔面軟部組織損傷 顔面骨折 上肢・下肢の外傷	60 (10)
II 先天異常	唇裂・口蓋裂 頭蓋・顎・顔面・頸部 四肢	15 (4)
III 腫瘍	良性腫瘍・母斑・血管腫 悪性腫瘍 腫瘍切除後の組織欠損	90 (18)
IV 瘢痕・瘢痕拘縮・ケロイド		15 (3)
V 難治性潰瘍	褥瘡・その他の潰瘍（下腿・足潰瘍を含む）	25 (3)
VI 炎症・変性疾患	四肢・体幹・その他の炎症・変性疾患	Ⅷと合わせて15 (2)
VII 美容	備考：必要経験症例には含まれない	0 (0)
VIII その他	眼瞼下垂、腋臭症、その他	Ⅵと合わせて15 (2)
Extract. 顔面神経麻痺	本疾患は、NCD形成外科疾患大分類のI～VIのいずれかに含まれ、症例数も上記のI～VIにカウントされる。	上記必要経験症例数内で 1例以上含むこと

指定症例の総計 220 (40)

B : 自由選択枠の症例数 80 (40)  
備考：NCD形成外科疾患大分類の全疾患がカウント可能  
備考：VII美容は手術、処置（非手術・レーザー）のカウント可能

C : 総合計症例数 300 (80)